

和合

No.97
2014. 2. 20

題字：三浦修次



主な掲載記事

和合ってどんなところ.....	2
ふるさとを想う.....	2
年中行事（行事食）.....	3
和合の里のお地蔵様.....	3
老いないために.....	4
和合の交番.....	4
亀治からのメッセージ.....	5
せんせいあのね！.....	6
私の健康・健康レシピ.....	7
もっしえけの.....	8・9
地域インフォメーション.....	10

(1/25 Jr.カレッジWAGO!! 雪あそび)

和合ってどんなところ



余目第四小学校
近藤比呂子先生

平成21年4月1日本校に赴任した初日、職員室の席に座った時、いきなり電話が鳴りました。「〇〇スポ少だが、体育館が使えないというのは本当か？」何のことかわからず、ドキドキしたスタートの日を懐かしく思い出します。その後説明会を重ね、地域や町当局の努力により、すばらしい体育館が完成しました。また、古い体育館の床板を使って、記念の木札を全戸配布する際は、老人クラブの皆様大変お世話になりました。その過程で、地域のいろいろな方々と関わり、ふるさと「和合」に寄せる思いは、並々ならぬものがあるなあと感じたのでした。

この年、第四学区子ども見守り隊も始動しました。顔合わせ会にはたくさんの皆様からご参加いただき、地域の子どもの地域で育てていこうという気運の高さに驚かされました。

学校では「母校愛・郷土愛のある子ども」を育てようというのが、教育目標の一つになっています。地域の皆様の思いを受けて、和合地区や庄内町を想い、郷土にそして世界に羽ばたく子どもを育てなければならぬ……責務の重さを感じます。

仰々しいことを書きましたが、地域懇談会やPTAの会合等では、気さくに話ができて笑いもありで、安心して参加できます。そのような地域で育った子ども達だからこそ、素直で明るいかわいい子ども達なんですね。居心地のいい和合地域、長くなっただけでもう少しおかせていただきたいなあ……。

ふるさとを想う ~みんなの“ふるさと”~

『自然がいっぱいで、きれいなところ。みんな思いやりがあって、やさしい人がたくさんいる。楽しいところ。』

元気いっぱい過ごす、和合の子どもたち……。多くの人や自然との関わりの中で感じている。大きくなり、たとえこの地を離れても子どもの頃の思い出はいつまでも心に残っていると信じている。

『幼い頃、ながめた景色が心の中に刻まれている。変わって欲しくない風景と自然の豊かさ、そして人々のあたたかさ、いつまでも美しくいて欲しい……。』

和合の里を離れた人たちの願いである

【“ふるさとは遠きにありて思うもの……”（詩人：室生犀星）という詩にもあるが、離れて初めて有難さに気付くもので、自分の生まれ育った土地は原点、何処に居ても心の中にあり、“ふるさと”があることに感謝している。】

余目町立和合中学校校歌

作詞 小林 純一
作曲 中田 喜直

- 一、風薫り みどり燃え立つ
よき里よ 大和 十六合
いわれある その名にちなむ
わが母校 和合 和合中学
あ、降りそそぐ光さえ
和む この庭 この窓に
挙げよ 挙げよ 若き歌声
育ちゆく いのち称えて
- 二、しろがねの 雪をいただく
よきみねよ 臥牛 鳥海
その姿 理想と仰ぐ
わが誇り 和合 和合中学
さあ 飛びかける子だかさえ
めざす あ空 あのみねに
放て 放て 遠くひとみを
輝やかし 未来もとめて
- 三、庄内に ひびく水音
よき川よ 最上 京田
その流れ 尽きざるさまに
崇えあれ 和合 和合中学
あ、川原の小石さえ
玉と 真玉と 輝やくを
思え 思え 日に新たに
曇りなき 真理きわめて

おぼろの年中行事

●あられ(あられ餅搗き(三月)

家では田植えの休憩のおやつとしてたくさんついて保存した。子どもたちのおやつとしても大変大事なもので、母親はかた餅を焼いて学校からの帰りの子どもたちに準備してくれた。

春一番の風が吹き乾燥する頃、三月に入ると各家庭では「あられ餅搗き」が始まる。何日もかけて十臼も搗く家もあった。

●浸種(三月中旬)

今は早くなり三月十日過に始まる。昔は春彼岸を前に塩水選を行い、七く八升位ずつ小さな種俵に入れ、更に、苗運びに用いた俵に種俵二俵ずつ入れて小川や溜池に漬けた。小川では俵が流されないように杭を打って縛りつけて浸漬した。

「余目町の民俗年中行事より抜粋」

★子寄せ寒天★

《材料》 ・たらのこ 200g ・寒天 2本 ・水 4カップ ・さとう 200g
・しょうゆ 大さじ 2/3杯 ・酒 大さじ 4杯

【作り方】

- ① たらのこは、さとう、しょうゆで軽く煮る。(下味をつけるため)
- ② 寒天を分量の水で煮溶かし、しょうゆ、さとう、酒、塩で調味する。
- ③ 流し箱をぬらして、たらのこを入れ、②の寒天液を少量流し込む。
- ④ 少し固まりかけてきたら、残りの寒天液を流し、固める。
- ⑤ 固まったら適宜に切り、たらのこの入った方を上にして皿に盛りつける

庄内海岸地方では昔から寒だらがとれる。お祝いの時には、たらのこを使った寒天を作る風習がある。

和合の里のお地蔵様

新田目編

〈語り手〉工藤忠一さん

新田目村の創基は元和八年(一六二二年)、新田目村の観音堂、三つ口村の虚空蔵堂はいつ頃よりの鎮座かはつきりしないが、観音堂については、文化七年(一八一〇年)に再建されたといわれている。明治九年(一八七六年)十月、新田目と合併した三つ口村も、その四年後の開発と言われている。

祖先は飽海郡から最上川を超えて来たという説がある、明治になるまで庄内藩領に属した。昭和四十六年(一九七一年)四月十七日、三百五十年祭が行われた。

庄内町の文化財に指定されている「鰐口」は、新田目三上神社所蔵の青銅製のもので、連枝巖島神社の鰐口に比べて小型である。制作年代は、江戸時代中期と思われる。

いろいろな歴史とともに、現在、子どもも少なくなっているが、住民が安全に、そして平和に暮らせるようにと、お地蔵様は日々見守り続けている。



イラスト：工藤昭子

〈聞き手〉富樫

“とし”とっても、老いないために!!

思いあたること、ありませんか・・・？ (認知症!!)

認知症のはじまりではないかと思われる言動には個人差がありますが、暮らしの中で下記のいくつか思いあたることがあれば主治医や地域包括支援センターに相談しましょう。

【物忘れがひどい】

- 話し終わった電話相手の名前を忘れる。また、同じことを何度も言う・問う・する。
- 財布・通帳など物の置き忘れが増えいつも探している。また、盗まれたと人を疑う。

【判断・理解力が衰える】

- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった。
- 話のつじつまが合わなくなり、新しいことが覚えられない。

【時間・場所がわからない】

- 約束の日時や場所を間違えることがある。
- 慣れた道でも迷うことがある。

【人柄が変わる】

- 周りへの気づかいがなくなり、頑固になった。
- 自分の失敗を人のせいにして、些細なことで怒りっぽくなった。

【不安感が強い】

- 「頭が変になった」と本人が訴える。

【意欲がなくなる】

- 入浴や着替えをしなくなった。また、なんでもおっくうがり、いやがる。



気になることがあったら、まずはお気軽にご相談ください。

● 庄内町地域包括支援センター

(介護センターほほえみ内) TEL 45-1030

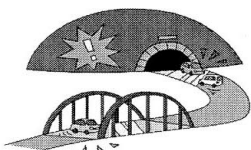
● 庄内町地域包括 立川サブセンター

(庄内町役場立川庁舎内) TEL 51-2505

和合の交番



冬道での交通事故に注意!!



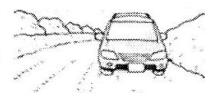
冬期間は、積雪や路面凍結、悪天候時の視界不良などによって道路環境が悪化し、交通事故の多発が心配されます。

特に、スリップ事故などが起こりやすい、圧雪・凍結道路では、乾燥路面の2～8倍も滑りやすくなります。

信号待ちなどで停止する際には、早めにゆっくりとブレーキを掛け、十分減速しましょう。

【ドライバーのみなさんへ】

- ・5分早めの行動で、ゆとりのある運転を実践しましょう。
- ・横断歩道では、歩行者や自転車を安全に横断させましょう。
- ・「薄暗くなり始めたと感じたら、早めのヘッドライト点灯」を心がけましょう。



【歩行者のみなさんへ】

- ・道路を横断するときは、「いつでもどこでも安全確認」をしましょう。
- ・夕方以降の外出では、明るく目立つ服装を心がけ、夜光反射材を身につけましょう。



冬道の安全運転 5 則

- 1 スピードは、夏場よりも10キロ以上減速する。
- 2 車間距離は、路面乾燥時の2倍以上とする。
- 3 急加速、急ブレーキ、急ハンドル等の急激な操作を避ける。
- 4 視界不良時は前方をよく見て早めに徐行する。
- 5 危険がいっぱい。追い越しはしない。

安全横断 5 則

- 1 安全な場所を選ぶ。(信号機、横断歩道、見通しの良い場所)
- 2 道路の端で必ず立ち止まる。
- 3 右・左の安全を確かめる。
- 4 安全を確かめたらまっすぐさっさと渡る。
- 5 横断中も、右・左の車の動きに気を配る。



ドライバーも歩行者も、お互いアピールをしあって、交通事故の防止に努めましょう。

亀治からのメッセージ

亀ノ尾の里資料館

●企画展「雛（ひな）人形展」始まるよ

今年もお雛さまの季節がやってきました。ぜひご来館下さい。

◆期 間：平成26年2月22日(土)～4月3日(木)

◆時 間：午前9時00分～午後9時00分

◆休館日：3月24日(月)



●昔の生活を体験



1月28日(火)、余目四小の3年生が昔の道具調べにやってきました。「わら仕事ってどういうの?」「この道具はどうやって使うのかな?」などなど、様々な疑問に答えるため、地域の先生として日下部幹夫さん(前田野目)をお招きしました。「縄ない」や「せんべし編み」を実際に見たり、体験したり、数本のわらがあつという間に縄やせんべしに変身する様子に子どもたちは驚いていました。展示している道具を実際に使っていた先生に質問したり、「わらぐつ」や「みの」を履いたり着たり、少しだけ昔の生活を実感できたかな?

道具図鑑



●たわらぐつ
たわらのような形をしていることから「たわらぐつ」と呼ばれる。わらぐつの一つで、積もった雪を踏み固めて道を作るときに使う。(現在の除雪機)

●わらうち槌
わら細工(わらぐつ、みの、せんべしなど)を行うとき、細工をしやすくするため、あらかじめわらを叩いて柔らかくする。最初は荒打ちといって掛矢(木槌の大きなもの)で叩き、仕上げにわらうち槌を使って片手でわらを反転させながら叩き上げる。

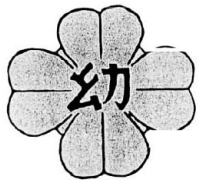


亀治の目

時代と共に新しい品種が次々と生み出される中、一度姿を消した品種が見直され現在に甦っているものがある。その一つが「豊国」だ。

「豊国」は、京島の檜山幸吉が明治36年、文六種の変種を固定させたもので、いもち病に強く、稲わらは長稈で節間が長く漂白がきくため草履表の材料として、また、米は粗蛋白が少なく大粒で心白が入りやすいことから酒米として利用され、最盛期には寒河江市西村山を中心に14,000畝も植えられた。しかし、戦後スリッパの登場により草履の生産が激減。その姿を消したのである。

おいしいお酒を造りたい、日本の伝統文化を守りたいという思いから「豊国」の再現が望まれ、平成15年には「豊国活用研究会」が発足。現在、米は純米酒「寒河江之荘」として、また、稲わらで作った草履表は神社の神主や大相撲の行司、時代劇、大河ドラマの俳優の履く草履として活用されている。



よつぱっこ通信 第四幼稚園

～正月遊びは楽しいな～

せんせい、あのね!

～先生 あのね 節分の日～

- T(先生)** 「みんなのおなかの中にはどんな鬼がいる？」
子 「僕のおなかにはね…、好き嫌い鬼に、おそっぺ鬼」
子 「私は、泣き虫鬼」 **子** 「私は、片付けない鬼」
子 「僕は、ゲームはっかい鬼だな」 **子** 「寝ぼあけ鬼！」
 いろいろな鬼ができてきたけど、一人だけ黙っていたA君。
T(先生) 「あれ？A男君は何鬼かな？」
A男 「えっ？僕はいないよ！お家で怒られることもないからね！」
T(先生) 「……」



毎年1月、2月は羽つき、すごろく、福笑い、こま回し、おはじき、かるた等なお正月遊びを楽しむ。「何してるの？どうやるの？やりたい!」とすぐに寄ってくる。「これはね、昔からお正月になるとみんなで遊んでいたんだよ」「みんなのお父さんお母さん、お祖父ちゃんお祖母ちゃん、おっきいお祖父ちゃんおっきいお祖母ちゃんも子どもの頃遊んでいたんだよ」と言うたびっくり。

かるた取りは、4、5歳は、字を覚え始めて「読める」「わかる」が楽しくなる時期。グループで、クラスで、時には、全園児で、いろいろなかるた取りをする。読み札が読み上げられている時の目はキラキラ輝いている。「はい!」と手を伸ばす時は真剣そのもの。絵札を取って大喜びする子、悔しがって泣きそうになる子、取れなかった子を慰めている子。いろいろな子ども達の姿が見える。家ではお祖父ちゃんお祖母ちゃん達におまけしてもらっても、園ではそうはいかず、負けることもある。勝ったり負けたり、どうやったら勝てるか、一生懸命考えている。「もう1回やろうよ」「今度は負けないよ!」

～四小っ子～ 第四小学校

～感謝・成長・夢～



このほど、「和合地域づくり会議」・第四公民館主催の「新春夢を語る会」が開催された。余目四小の4年生が10才になった自分を振り返り、産まれた時のエピソードや「育ててくれてありがとう。」など、お世話になった家族に感謝の気持ちを伝えた。「お母さんのような美容師になりたい。」「看護師になりたい。」そして「化石研究者になりたい。」など、自分の思いを語った。子どもたちを見守る地域の方々の眼差しが温かく、嬉しい気持ちになった。学区出身議員からは、自分の子どもの頃の状況や体験などが語られた。この子どもたちの夢を実現することができるよう、みんなでその手立てを考え導いていきたい。

私の健康

田澤 嘉樹さん (吉方)



私は昭和7年生まれで満81歳になりました。自分でもビックリしています。ここまで長生きし健康でいられる事は、本当に幸せだなと実感しているところです。私がこうして健康でいられるのは、次の4つの要因があると考えています。一つ目は「趣味の歌」です。いろんな場所でステージに立ち、緊張しつつも上手く唄って聴いてくれる皆さんに感動を与えることが出来た時は非常に大きな喜びに変わります。その喜びが元気でいられる秘訣だと思っています。歌はα波の増強や免疫力の向上、自立神経の安定化、横隔膜の強化など体に良い事はもちろん、表現力の醸成や何よりも楽しい仲間が沢山出来るなど、良い事尽くめです。

二つ目は「運動」です。私は、軽作業などを通して無理の無い範囲で出来るだけ体を動かすようにしています。毎日体を動かすことで、特にウォーキングなどしなくても一日3千歩～5千歩くらい歩いています。これで体力も維持出来ているものと思っています。

三つ目は「人との交流」です。いろんな行事やイベント、会合などに積極的に参加し、いろんな人と知り合うこと、意見を交わすこと、刺激を貰うこと、これによって自分自身も前向きにプラス思考で居られると思っています。最後は「自己管理」です。食は、少肉・多菜、腹は八分目、週一回は休肝日と自身の体を常に気遣っています。また、罹りつけ医での定期診察や各種予防接種も欠かさず受け、自身の健康は自身でケアするという考えで毎日過ごしています。

これからも、大いに歌い、適度に体を動かし、積極的に人と交流、そして自己管理。これらを継続していくことにより健康であることの喜びをさらに実感していきたいものです。庄内町長殿が常におっしゃっている通り「元気で長寿」を自らが実践できれば幸いと考えています。

健康レシピ

～鶏肉のカシューナッツ炒め～



◎材料 (6人分)

鶏もも肉(1.5cm角).....	120g
ピーマン.....	2ヶ
にんじん.....	1本
カシューナッツ.....	40g
でん粉	
～鶏肉の下味用～	
A	
しょうが	少量
しょうゆ	30cc
B	
しょうゆ	50cc
砂糖	40g
酒	30cc

◎作り方

- ① 鶏肉はAの調味料で下味をつける
- ② ピーマン・人参は1cm角で下ゆでしておく。
- ③ 鶏肉にでん粉をつけ揚げる。
- ④ Bの煮立てておいたものに、ピーマン・人参・鶏肉・カシューナッツを入れ混ぜ合わせる。



カシューナッツはフライパンなどで炒っておくと香ばしくなく、さらに美味しいです。

もっしえけの♡また、がだっでー!



◇ひまわりっ子広場では様々な活動をさせていただきました。始めお友達と手を繋ぐことも恥ずかしがっていましたが、回を重ねるごとに慣れていき、自ら発言するなど成長が見られました。娘は毎回絵本を読んでもらえることが、とっても楽しみなようで、帰宅後は、ニコニコしながら家族に話していました。普段、家庭では弟と三人で過ごしておりますので、娘と二人で参加することは私にとっても大切な時間になりました。同学年のお友達と遊んだり、何か作ったりとても貴重な体験だったと思います。ありがとうございました。

(成澤 紅羽さん お母さん：真理子さん 西袋)

◇人見知りの強い娘に「楽しいヨ」と説得して始まった娘の『ひまわりっ子広場』その活動の中で友達が小さな手を差し伸べてくれ、仲良く手を繋ぎ親元を離れることが出来る様になりました。どの活動にも心に残る楽しいことがあり、とても貴重な体験をさせていただきました。ひまわりっ子広場において、固く閉ざした娘の心に【一歩踏み出す勇気の種】を与えてくれた温かい小さな手。友達が与えてくれた【勇気の種】を幼稚園で【思いやりの花】として咲かせて欲しいと願っています。娘が成長することができたのも、この環境を企画・提供して下さった公民館職員の方々、余目支援センターの先生方の温かいお心遣い、ご指導のお蔭と深く感謝しております。(檜山 心優さん お母さん：悦子さん 京島)



【ひまわりっ子広場】



◇去年と今年の2年間入ったけど、今年の雪遊びが一番楽しかったです。スノーモービルでスピードMAXで走って、とっても楽しかったです。バイクみたいなやつもやって、とても速くてビックリしました。

(5年 関井 瑞希さん 廻館)

◇今年一番おもしろかったのは、ざっこしめです。きょ年やっていないから、今年始めてやりました。カレッジをやっていない人も来たので、楽しかったです。今年もカレッジやりたいです。

(4年 工藤 彩稀さん 古閑)



◇今年初めてカレッジ和合に参加したけど、月山登山とかキンボールが楽しかったです。また来年も参加したいなあと思いました。とうふなどの作り方も覚えられたので良かったです。

(5年 伊藤 愛夏さん 西袋)



【Jr.カレッジWAGO!!】



◇【ぼくは、今年はじめておやこ元気じゅくに入りました。一番楽しかったのは、ざっこしめです。コイをす手でつかまえたら、おびれでほっぺたをたたかれて、いたかったです。そのあと、下を見たらいつの間にかコイがいなくなっていてガッカリしました。4年生になってもまたざっこしめに参加したいです。本当に楽しかったです。

3年 川井 哲哉さん】

◇私も初めての元気塾の参加でしたが、毎回とても楽しませていただきました。家では、なかなか哲哉と二人きりで、仲良くふれあうことができないので、とても貴重な時間だったと思います。お世話になった皆様、ありがとうございました。

(お母さん：美生さん 古閑)

【おやこ元気塾】

◇【私は一年生の時からおやこ元気じゅくに入っています。三年生に入ってから一番楽しかったのは、フラワートレッキングです。月山に登ったのは初めてだったので、始めはわくわくしました。でも登ってみると、坂があって思っていたのより、きつかったです。三年間かよって、すごく楽しかったです。ジュニアカレッジでは、親がいなくなるので一人でもできるようにがんばりたいです。3年 秋庭 陽世里さん】

◇月日は早いもので、一年生からおやこ元気塾に参加させていただきました。あっという間の三年間、楽しく元気に通わせていただきました。兄、姉もそれぞれ三年間参加させていただきました。三人共々お世話になりました。普段体験できない様々な企画をたてていただき、親子共々大変有意義な時間を過ごすことができ、うれしく思っています。おやこ元気塾は最後となりますが、親子の時間を大切にしていきたいと思っております。お世話になりました。ありがとうございました。(お母さん：香澄さん 南野新田)





◇「卒業のない大学」ということで地域に知られ、その輪が徐々に広がりつつある大学が当和合大学院です。卒業がないということで一度入学すれば、何年でも留年ができ、自分の都合に併せて行事に参加する、決して無理はしない。無理は禁物です。入学資格は地域の老人クラブ会員が対象ですが、会員以外でも本学院の目的に賛同し興味のある方は誰でも入学可能です。老人クラブというと、とかく老人という代名詞に抵抗を感じ、何かと申される方もいるようですが、人間誰しも一年ごとに歳を重ね、行く末は心安らかに天寿を全うする。これは生命を育むものすべての宿命かと思えます。当学院はこの終着駅にたどり着くまでの課程をいかに過ごすかの勉強研修の場でもあります。綺麗なもの(人)を見れば綺麗と思う心(気持ち)、美味しそうなものを見れば美味しそうと思う気持ち、そして食べてみたいと思う気持ち、気力。それらは全て脳を刺激し、また活性化することでもあり常に若さを保つ健康で長生きする上での何よりの速攻薬かと思えます。健康で長寿日本一の町、庄内町を目指す当学院が益々発展されますよう、ご祈念申し上げます。(原田 博司さん 南野)



◇「和合大学院に入学し、小学生と一緒にスポーツを通じ、ふれあいながら楽しみ、また幼稚園児・小学生・地域の方々と年代を問わず参加したふれあいコンサート。そして幼稚園探訪の昔遊びなど楽しく過ごしてきました。また、伝統工芸のローソクの絵付け体験、史跡めぐりなど個人でなかなか見学や体験できないところも学習できて大変よかったです。あつみ夕陽能は、私も以前黒川流の謡曲を習ったので大変興味深く鑑賞して参りました。数々の体験学習と大勢の地域の人々とふれあいながら大学院を修了しました。みなさん一年間、大変お世話になりました。(佐藤 勇さん 主殿新田)

【和合大学院】



◇平成25年度の町民大学“歴史民俗学部”に初めて参加。5回の講座を一度も休まずどれも関心のあるものでした。その中で特に印象に残ったものは、4回目の米沢市での現地研修。伝統工芸「置賜紬」米沢織物資料館とわくわく館でした。素朴な風合い、優しい染上がりの色、紬のおりなす“ぬくもり”を感じました。米沢織・紅花染め・草木染めなどの小物から洋服まで、糸を紡ぎ染める織る。一つひとつの技術が美しさを生み、心を和ませるひと時を味わいました。この様な伝統工芸はこれからも若い世代に受け継がれていくことを願うものです。来年度も現地研修を【もちろん講座も……】楽しみにしております。また参加し、地域の良さを発見したいと思います。(志田 征子さん 古閑)



◇昨年に続き今年度も民俗紀行Ⅱを受講しました。それで特に、印象的なものに地域にみられる旧両田川郡役所や旧狩川村役場などの建築作品は、鶴岡大工町に生まれ明治時代前期の大工でありながら、建築家としての素養を持ち合わせたといわれる高橋兼吉の建物についてです。また洋風建築には清川学校などに、和風には晩年に竣工された善宝寺五重塔があった。民俗芸能では、庄内地域に存在される無形民俗文化財団には資金が乏しければ、それなりに振舞い継承され、郷土の伝統民俗文化を存続される後継者の熱意が伝わってくる現地ガイドによる学習であった。歴史民俗学部スタッフ一同様のご心労に感謝申し上げます。

(庄司 善一さん 廻館)

【町民大学歴史民俗学部】

◆お世話させていただきました

◆町民大学歴史民俗学部は、昨年度に引き続き山形民俗紀行Ⅱと題し、5回の講座を開講した。今年度は、ご夫婦での参加やはじめの参加者も増え、募集定員40名いっぱいとなった。身近であるが故、見過ごしがちな地域の文化や歴史。今回の講座では、その一部を紹介できたかと思う。また来年度も山形の魅力を発見する旅に出かけませんか？(渡會 ◆「ひまわりっ子広場」で響き渡る笑い声と笑顔、回を重ねる毎にどんどん成長する子ども達をお家の方と一緒に見守ることができとても嬉しかった。四公に咲いたみんなの笑顔が幼稚園でも満開であることを願っている。 ●「おやこ元氣塾」ではみなさんから元気なパワーと笑顔をもたらした。好奇心と探究心で何事にも全力で取り組むみなさんと一緒にいろいろな体験ができて嬉しかった。お家の方の多大なるご協力にも大変感謝している。来年度からも「ワクワク」盛りだくさんでまわってほしい！

●「和合大学院」では現地研修や、世代間交流等様々な内容で開催した。いつも和やかな雰囲気笑顔が多く「ああそうか、笑顔が健康の秘訣か」と実感した。来年度もいろいろな企画を考えているので、お楽しみに！(佐々木 ◆自然や地域の方との交流の中で、子どもたちは元気に活動を終えた。事業間交流と地域づくり会議との共同事業を行うことで、世代を超えた交流ができ、地域の絆が深まったものと感じた。春からの活動も、和合の里の子どもたち一人ひとりがたくましく、自分の住むこの地域を好きになってくれるよう、より充実した体験ができるようお手伝いをしていきますので、地域の皆様のご協力、よろしくお願いたします。(富樫

地域インフォメーション!!

パチパチ

たくさんの方が受賞しました

平成25年度庄内町総合表彰式が響ホールで行われ、それぞれの分野で功績のあった方々に表彰状等が贈られた。

和合の里からの受賞者は次の通り。

- 佐藤 幸 (小出新田)
- 横山 修 (沢新田)
- 正立 隆 (廻館)

平成25年度庄内町体育協会表彰式 狩川公民館で開催された。今年度も多くの方が活躍され受賞。今後の更なる活躍を期待します。和合の里からの受賞者は次の通り。



栄光賞

陸上

- 齋藤 さつき (連枝) 余中三年
- 齋藤 早希 (南野)

東京女子体育大学一年

余中陸上部

- 太田 成美 (廻館) 余中三年
- 石川 菜々子 (連枝)
- 齋藤 愛 (沢新田)
- 長南 那於 (沢新田)
- 齋藤 さつき (連枝)
- 國井 椿 (返吉) 余中二年
- 森居 綾子 (沢新田)

卓球

- 奥山 堅也 (古閑) 余目四小六年
- 加藤 伸幸 (主殿新田) 余目クラブ
- 奥山 勝也 (古閑)
- バレーボール
- 長南 あゆみ (沢新田)

宮城県尚綱学院大学二年

バスケットボール

- 佐藤 夢衣 (南野)

山形商業高等学校二年

ソフトテニス

- 上野 真子 (吉方)

羽黒高等学校三年

余中女子

- 渡部 梨花 (吉方) 余中三年
- 本間 智佳 (福島)
- 上野 海蘭 (吉方) 余中二年

体操

余中男子

- 志田 昂曉 (古閑) 余中三年

奨励賞

陸上

- 佐藤 奈月 (南野) 岩手大学四年

余中陸上部

- 齋藤 さつき (連枝) 余中三年
- 太田 成美 (廻館)
- 齋藤 愛 (沢新田)
- 國井 椿 (返吉) 余中二年
- サッカー
- 瀬川 美桜 (南野) 余目四小六年
- 横山 某南 (沢新田)

えっへっ読んどのー♪



新しい絵本が入りました。大人気「だるまさん」シリーズの第2弾や楽しいしかけ絵本でやさいがかくれんぼ…。お家での読み聞かせなど、お子さんとの楽しい時間をお過ごしください。

返却日が過ぎている本はありませんか？ 持って来てね！

お詫びと訂正

平成25年12月20日 (No.96) 3ページに掲載しました「和合の里のお地蔵様〜赤瀬新田編〜」の記事において、藤原村の開村の年号が一九五五年とありましたが、一六五五年の誤りでした。お詫びして訂正いたします。



編集後記

テレビなどで、子どもたちの痛ましいニュースが流れる。目を背けたくなるような内容もある。どうして近くに居てもできなかつたのか。いろいろな感じ方をするだろう……。子どもたちの思いは、大人になっても心に残る。人とのかわりによって思いやりの気持ちが生まれる。みんな、一人じゃない！そばにいるよ！……そんな声が聞こえてくる和合の里は子どもたちを優しく包み込んでいます。

